



R.I. District2610 . ROTARY CLUB OF UOZU

魚津ロータリークラブ 会報誌

2007 - 2008 年度 RI 会長 ウィルフォードJ.ウィルキンソン
魚津 R.C 会長 谷川 文紹

2008年 5月 30日

第 2633回 例会報告

ゲスト並びにビジター紹介 なし

誕生祝 5月30日 松田 栄明 君 本日が誕生日です。67歳になりました。干支で言うと「ヘビ年」です。この「ヘビ年」生まれには関取や宗教家・実業家で成功する人が多いと聞いております。私は大正8年から3代続いた苗種業を営んでおり、土に根付いた人間に最も重要な食物に関係する業種は天命として家業に励んでおります。家業を継ぐ前は勤め人でしたがそれを続けていると現在はどうなっていたのかと考えることもありますが、現在の仕事には情熱と誇りを持っております。子供たちから毎年恒例の誕生日プレゼントは「シャツ」です。これからは大事にしていた「シャツ」を着て頑張りたいと思っております。



ポールハリスフェロー授与式



若田 勇 君 皆さんありがとうございました。

会長挨拶 本年度も残り1ヶ月となりましたが、各種奉仕活動に精励してください。沖縄・南九州では入梅入しましたが健康上不安定な日々が続きますがご注意願います。報告事業として、魚津西R・Cの40周年記念式典には多数の出席ありがとうございました。「魚津市の歴史観光マップ」が完成しましたし、「ボーリング大会」が開催されます。本日の健康講座は、「口中の唾液が病原菌の殺菌作用を司るといった健康上大変に重要」だと何回も申し上げましたが、食事時の際によく咀嚼することによって唾液の分泌を促します。このことは食中毒予防にも効果的です。最近「水洗式食事」すなわち「唾液を出さないで飲料水で飲み込む食事法」などと言われていることが気懸かりです。だ養生訓(300年前からの有名な健康に関する教科書)に記載されている内容が現在の健康ブームにマッチして見直されている。それは長寿社会になって健康志向に誰もが関心を持つてきたからです。具体的には食べ合わせなどの内容です。小生の仕事では「食べ物を噛んでください」これによって唾液の分泌を促し、消化酵素(リゾチウム)が活性化されることにある。これによって黴菌の繁殖を抑えることができる。詳細は次回に話します。また入梅も近く食中毒には注意願います。

幹事報告 黒部R・C 6月度例会案内
魚津西R・C 40周年記念参加のお礼

出席報告 35名 97.22% 第2631回 63.88% 69.44%修正

ニコニコボックス

なし

委員会報告

親睦活動委員会 6月1日に「ボーリング大会」を行いますので参加下さい。

卓話

地球環境を良くするには官民一体で」 杉野 芳宏 君



最近、地球温暖化問題とりわけ二酸化炭素に関することが話題となっております。これは7月の洞爺湖サミットにおいても重要な課題として取り上げられるでしょう。本日の卓話ではこの件については大上段から取り上げるつもりはありません。我々のききな問題点で取り上げたいと思います。富山県は全国に先駆けて「レジ袋有料化」に踏み切りました。

このことももちろん大事なことですが、もっともっとやらなければならないことがあるのではと考えます。私はエネルギーに関する事業を行っている関係から環境問題には非常に関心を持っております。車メーカーでは燃費について重要視され、各社は競っています。一方、行政はこの点については無関心であるように考えられます。この件については怒りを覚えます。一例として信号機設置に関することです。それは単に信号機を増やすだけで事故は減少するのではないかと、あまりにも無節操な設置基準です。殆ど片方の道路を車両が通らない交差点に信号機を設置し、赤信号で頻繁に車が通る道路側では車両は停止せざるをえず、このことによってエネルギーの損失や多大なるCO₂排出量を伴っていることです。行政当局が大局の見地から考慮すればレジ袋云々よりこのことのほうがむしろ重要なことではと考えます。信号機の連動性を考慮すべきではないでしょうか。運動の法則では、止まっているものは何時までも止まっている、一方動いているものは何時までも動いている。即ち止まっているものを動かそうとする時、動いているものを止ませようとする時何らかのエネルギーが必要です。無駄な消費エネルギー（燃料）を使っている、損をしていると考えます。担当行政は分かりませんが、これらは行政の怠慢といわざるを得ない。地球温暖化について、その一部の現象は述べられているが、対応化策についての事項は少ないと思います。全世界の各国間でCO₂の排出量の取引・売買を行っています。もっと身近な所から解決すべきではないでしょうか。官を攻めるつもりはありませんが、企業に対しては厳しい規制をかけたがら官としてなすべきことの配慮に欠けていると考えます。これは本末転倒ではないのか。

次に新潟沖地震で、現在も世界一発電量を誇る柏崎野田原子力発電所は停止した状態です。これは地震の際に安全装置が働いたからです。装置としては完璧に機能したからです。それがいまだに発電できないのは耐震構造に根拠のない問題があるといわれているからです。問題点なのは、この原子力発電所が停止している間は、代替発電としてどこかの発電所で化石燃料即ち石油・石炭によってまかなっており、CO₂を発生させていることです。誤解を恐れずに言いますが、私は原子力はCO₂を発生させない一番クリーンなエネルギーと考えています。万が一事故が起こった場合の放射能発生・飛散といったリスクがあることも勿論あります。北陸電力の志賀原子力発電所については、以前の臨界に達するような状態になったことを報告しなかったためにいまだに発電を休止しています。これらのことを考えると代替エネルギーに関しては小さな事より、大きな事を考えるべきであり、官民一体で今後考えるべき問題点である。本末転倒にならないように。最後に将来的には電気自動車の時代が来ると信じています。そうすると現在の産業構造に変化する時代が来ると思います。余談になりますが今回の四川大地震に関することでは私には地震とは違って戦時中の空襲に繋がる苦い思い出があります。